



～もっと地域と もっと地域へ～

かがやくえがお

第5号

令和8年 5月11日
長崎市立小島小学校
校長 桐山 充晴

【学校教育目標】夢をもち、ふるさとを愛し、自ら未来を切り拓く児童の育成

ゴールデンウィークが終わりました。それぞれの御家庭におかれましては、どのような過ごし方をされたのでしょうか。各学級から聞こえてくる子供たちの声の中には、「〇〇へ行った」「家族で〇〇をした」など、思い思いに楽しく過ごした様子が伝わってきました。



さて、運動会本番まで残り2週間となりました。先月末から少しずつスタートした練習も、どの学年も急ピッチで頑張り、最後の仕上げに向かっていくところです。今年の運動会のスローガンは、現在、複数候補の中から選定中ですが、どれも子供たちの思いの込められたものばかりです。どんなスローガンに決まるのか乞う御期待。いずれにしても、決定したスローガンのもと、どの子ももっている力を十分に発揮し、きらきらと輝くことは間違いのないと思います。お楽しみに。

運動会に向けて



今月24日(日)に予定されている「運動会」ですが、今年度も、昨年度までと同様に、小島中学校のグラウンドを借用し、午前中開催としています。どの子ももっている力を十分に発揮し、笑顔がきらきらと輝くことでしょう。それと同時に、運動する心地よさや競走

する楽しさを味わってほしいと思います。また、保護者の皆様には、演技や徒競走に一生懸命取り組む子供たちに、応援と称賛の大きな拍手をお願いいたします。

運動会の価値は、華やかな見栄えや整然とそろった動きだけにあるわけではありません。私たちが何よりも大切にしたいのは、子供たちが「自分たちの力で創り上げた」という確かな実感です。勝敗や記録の速さよりも大切なのは、その過程で子供たちがどれだけ試行錯誤し、仲間と支え合い、最後まで挑戦をやり抜いたかということです。大人が示して整えた完成品ではなく、自分たちでつくり上げた達成感こそ、子供たちの心に深く刻まれ、一生の財産となります。

練習の始まりには、うまく動けず戸惑うことがあります。思い通りにならず悔しい思いをすることもあります。けれども、その「思い通りにいかないとき」こそ、「やってみよう！」という勇気が育つ瞬間です。失敗を恐れずにまずは一歩踏み出す、その姿勢が子供たちを大きく成長させます。そして、仲間と声を掛け合いながら工夫し、粘り強く練習を重ねる中で「やり抜く力」が形になっていきます。できなかったことが「できた！」に変わる瞬間、子供たちの瞳と笑顔はひときわ輝き、心の底から湧き上がる自信が次の挑戦へとつながっていきます。御家庭でも、御支援をよろしくお願いします。

運動会は、単なる年中行事ではありません。挑戦と努力の積み重ねの中で、子供たちは自分を知り、仲間を信じ、困難を乗り越える力を培います。この経験は、教室での学習や日々の生活の中で直面する課題にも必ず生かされます。走り切った達成感、競技をやり遂げた誇らしさ、仲間と心を通わせた喜び——これらすべてが、子供たちの「生きる力」となって未来を支えていくのです。練習当初から、運動が得意不得意など関係なく、どの子も一生懸命です。練習の中、うまくいかなかった時、どうすれば良いのか考え、話し合いをしたり、うまくいった時は、みんなで思いっきり喜び合ったりしています。そういう経験が、子供たちを大きく成長させ、集団としての高まりを生みます。

運動会のねらいの一つに、『運動会』をみんなでつくりあげる過程を通して、集団で学び、活動するよさを味わい、学校生活に楽しさと豊かさを見い出すこと。』というものがあると考えています。練習を通して、仲間と心を合わせて頑張ろうとする姿、下級生の手本になって導こうとする姿こそ、「運動会」という行事の魅力が表されているのだと思います。結果だけにとらわれることなく、その過程に価値を見出し、教職員はみな、子供たちと一緒に汗を流しているところです。子供たちを惹きつけて止まない「運動」。当日は、そんな子供たちのこれまでの取組を想像しながら、「運動会」を楽しんでいただきたいと思います。

